

60pt

「あの時お前さんは

32pt

このお金で朝から晩まで酒を飲むなん

24pt

て言って・・・お前さんが酔って寝たのを幸いに

12pt

大家さんの所に相談に行ったんだよ。そうしたら、そんな物に手をつけたら大変だ。

お奉行（かみ）へ届けてやるから、勝公の方は何とか誤魔化せって・・・

そいで、このお金も大分前に落とし主が居ないからとお奉行から下がって来たけれども、

お前さんが料簡を入れ替えて真面目に働いてくれたから何にも言わなかった。

9pt

今まであたしが嘘をついていたことをお前さんにお詫びして・・・

連れ添う女房に長いあいだ嘘をつかれて、腹が立つだろうねえ。

あたしゃお前さんにぶたれようと蹴られようと構わない」

「ああ、おつかあ、なぐるどころじゃねえ。俺はおめえに礼を言う。ありがとう」

「じゃ、なにかい、勘弁してくれるのかい？」

今日は一杯飲んでもらおうと思って、お爛もついているんだよ」

「ああ、飲めんのか？え？おい、飲んで良いのか？」

「・・・よそう、
また夢になるといけねえ」

「・・・よそう、

また夢になるといけねえ」

「ああ、おつかあ、なぐるどころじゃねえ。俺はおめえに礼を言う。ありがとう」
「じゃ、なにかい、勘弁してくれるのかい？」
今日は一杯飲んでもらおうと思って、お爛もついているんだよ」
「ああ、飲めんのか？え？おい、飲んで良いのか？」

9pt

「お前さんが酔って寝たのを幸いに大家さんの所に相談に行ったんだよ。そうしたら、そんな物に手をつけたら大変だ。お奉行（かみ）へ届けてやるから、勝公の方は何とか誤魔化せって・・・そいで、このお金も大分前に落とし主が居ないからとお奉行から下がって来たけれども、お前さんが料簡を入れ替えて真面目に働いてくれたから何にも言わなかった。今まであたしが嘘をついていたことをお前さんにお詫びして・・・連れ添う女房に長いあいだ嘘をつかれて、腹

「あの時お前さんはこの
お金で朝から晩まで酒を飲むなんて
言って・・・お前さんが酔って寝たのを

12pt

24pt

32pt

60pt